



大きな木の下でお花見を楽しむ女の子。

桜の花、桜の花びら、おだんご、猫、リス、小鳥などなど。自然の生き物であふれている今月号の表紙です。

春の命でいっぱいのかわいらしい今月号の表紙を書いて下さったのは、読書をするこゝと、音楽を聴くことが趣味の女の子です。

自然の森の中で、木登りや遊ぶことが大好きと教えて下さいました。

新年度、桜や自然のパワーを頂けた素敵な表紙をありがとうございました。

院長はじめスタッフ一同心より感謝致します。



医療法人 優慶誠会

豊郷たちかわ皮膚科クリニック*

世界に誇る日本のもの

- 1位 公共交通機関の時間の正確さ
- 2位 和食
- 3位 治安の良さ
- 4位 富士山
- 5位 トイレがキレイ

どれも納得できるものです。

ところで第2位の和食について。2013年12月4日ユネスコは「和食、日本人の伝統的な食文化」を無形文化遺産に登録しました。

食関連では「フランス美食術」「地中海料理」「メキシコ伝統料理」「トルコのケシケキ(麦がゆ)の伝統」が登録されていて「和食」は5番目だったそうです。

一汁三菜と表される様にバランスの良い健康的な和食。

和食は美味で今後も長く受け継がれて欲しいと思っています。

和食の素晴らしさは、その後ろに隠されたもてなしの心や食材に対する思いから生まれてくるものもあると考えます。

ある料理人が教室の中で“調理法が全てではない。見た目や香り、温度や食感も大切な要素です。そのため盛り付けや器の選び方も指導します”とありました。

“料理を愛でる”という言葉がありますが、寒い時期には暖かな火を演出したり、暑い時期には涼しげなガラスの器を使ったり、味+αの演出でおもてなしの心を感じ、心身共に満足できると思います。

藤子・F・不二雄氏が言った私の好きな言葉があります。

『のび太にも良い所が一つだけある。それは、彼は反省するんです。いつまでもいつまでも今より良い人間になろうと努力するんです。』

歓喜

それはいつだって苦しみの向こう側にあります。

もうダメだ。もうダメだ。もうダメだ。

もうこれ以上無理だ・・・。

そう思ってからが本当の勝負です。

大丈夫！君なら出来る。

立ち上がる勇気を出せ。

本物になる覚悟を持て。

その苦しみを乗り越えて、その先で君を待つ歓喜に至れ。

藤子・F・不二雄氏

いつかくるであろう、その時まで。顔を上げて進んでまいります。

院長 刀川拝